

## 小児外科

### 1. スタッフ

科長（兼）教授 奥山 宏臣

その他、教授 1 名、准教授 1 名、助教 4 名、医員 8 名、病棟事務補佐員 1 名（兼任を含む。）

### 2. 診療内容

外科の中でも専門性の高い小児外科疾患を担当し、高度先進的な診療を目指している。すなわち、①胎児診断及び新生児外科、②小児悪性固形腫瘍、③小児肝胆膵疾患・臓器移植（肝、小腸）、④腸管機能不全及びその栄養管理、⑤呼吸器・胸部疾患、⑥直腸肛門奇形・排泄管理・二分脊椎である。さらに各疾患において、低侵襲手術・内視鏡手術を提供し、術前後の栄養管理を積極的に行っている。

現在、新生児外科疾患の多くは、産科との協力のもとに出生前診断が行われ、重症例では母体搬送、計画的分娩・出生後の治療を一連として行っている。小児悪性固形腫瘍では、小児科、放射線科などの関連各科との協力体制をとり、強力な化学療法、幹細胞移植、放射線療法の併用により先進的な治療を行い、全国のリーダーシップをとって、治療成績改善に取り組んでいる。さらに、胆道閉鎖症に対する生体部分肝移植や腸管不全に対する小腸移植を、消化器外科、ICU の協力のもとに行っている。その他、胃食道逆流症やヒルシュスプリング病等の消化管機能異常の検査（内圧検査などの生理的検査）及び腸管機能不全における在宅栄養管理・支援を行っている。

また、我が国でも屈指の小児外科医療施設としての自負と責任のもと、地域医療貢献として、小児鼠径ヘルニアや虫垂炎などの外科的治療にも積極的に取り組んでいる。

### 3. 診療体制

(1) 外来診療：初診は常に受付可能である。

月	小児外科一般、小児腫瘍、血管腫、在宅栄養
火	小児外科一般、呼吸器・胸部、鏡視下手術
水	小児外科一般、肝胆膵疾患、胆道閉鎖、移植、消化管疾患、直腸肛門疾患
木	小児外科一般、腸管不全、在宅栄養 排泄ケア外来
金	小児外科一般、胎児診断、呼吸器・胸部、 排泄・二分脊椎

小児外科一般：腹痛・鼠径ヘルニア・臍ヘルニア・肛門周囲膿瘍・排便管理などの日常的な疾患から、直腸肛門奇形などの専門性の高い疾患まで広く対応可能である。

(2) 検査

火	腹部及び体表超音波検査、消化管造影検査
木	腹部及び体表超音波検査、消化管造影検査、 肛門内圧検査

上記検査は、他の外来日においても適宜可能である。

(3) 病棟

月	手術、リサーチカンファ
火	抄読会、科長回診、症例検討会
水	手術
木	術後検討会
金	手術

病床数：20 床

病棟診療体制は助教 1 名（病棟主任）のもと、医員 2 名（病棟担当医）と研修医 1～2 名とで行い、上記の各診療グループが同時に専門的な診療を行う。小児外科の救急疾患に関しては 24 時間 365 日受け入れている。

### 4. 診療実績

(1) 外来診療実績

平成 27 年度の外来初診患者は 276 名、再診患者 4,693 名、延べ患者 4,989 名であった。

(2) 入院診療実績

平成 27 年度の入院患者数は 514 名であった。  
平成 27 年度の手術総数は 487 件であった。

1) 主な疾患の手術件数

鏡視下手術	133 件
胃噴門形成術	2
鼠径ヘルニア	81

虫垂切除術	12
その他	38

新生児外科手術	17 件
横隔膜ヘルニア	1
食道閉鎖症	0
十二指腸・小腸閉鎖	1
腹壁破裂・臍帯ヘルニア	0
その他	15

## 2) 乳児期以降（成人を除く）

胸 部	41 件
横隔膜ヘルニア	1
肺切除	3
漏斗胸関連手術	11
その他	26

腹 部（消化管）	71 件
胃噴門形成術	2
胃瘻・腸瘻造設術	2
虫垂切除術	12
Hirschsprung 病根治術	3
鎖肛手術	2
その他	50

腹 部（肝胆膵）	95 件
胆道閉鎖症	3
胆道拡張症	3
肝移植	10
その他	79

悪性腫瘍（生検含む）	14 件
神経芽腫	1
腎悪性腫瘍	0
横紋筋肉腫	2

肝芽腫	2
その他	9

## 3) その他

脈管奇形塞栓術・硬化療法	24 件
検査、他	58 件
成人症例	34 件

## (3) 臓器移植

生体肝移植	10件（平成27年度末まで延べ102件）
生体小腸移植	0件（平成27年度末まで延べ1件）
脳死肝移植	0件（平成27年度末まで延べ2件）

## 5. その他

日本小児外科学会認定施設

## (1) 専門医及び認定医

日本外科学会	13 名
日本小児外科学会	6 名
日本消化器外科学会	2 名
がん治療認定医	2 名
小児がん認定外科医	2 名
日本移植学会認定医	4 名
日本静脈経腸栄養学会認定医	3 名

## (2) 指導医

日本外科学会	3 名
日本小児外科学会	3 名